

2020年8月7日

各 位

アートスパークホールディングス株式会社
 代表取締役社長 野崎 慎也
 (コード番号: 3663 東証第2部)
 問合せ先: 取締役 伊藤 賢
 電話番号: 03-6820-9590

2020年12月期第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2020年2月14日に公表いたしました第2四半期業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年12月期 第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異 (2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,762	13	1	9	1.10
実績(B)	3,007	358	348	207	25.46
増減額(B-A)	245	345	347	198	—
増減率	8.9%	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (2019年12月期第2四半期)	2,534	229	219	171	23.74

※2020年12月31日における発行済株式総数で算出しております。

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大した環境下において、クリエイターサポート事業を展開している当社子会社株式会社セルシスが提供する、デジタル技術でコンテンツの制作から閲覧までを支援する製品・ソリューションへの需要が全世界で高まった結果、国内・海外双方とも販売が好調に推移し、前回予想を上回りました。利益面につきましては、上記のとおり、売上が好調に推移した他、「CLIP STUDIO PAINT」のiPad版及びiPhone版で従来から提供していたサブスクリプションモデルの課金システムを、新たにWindows及びMacOSといったPC環境向けにも当第2四半期より提供を開始したこと等、収益性の高い売上が計上されたことにより、前回予想を上回りました。

上記のとおり、第2四半期累計期間の業績は、売上高及び利益面において当初予想を上回ることとなりましたが、当社グループの事業の特性として四半期毎の業績に変動があることを踏まえ、通期の連結業績予想に変更はありません。なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

以上